

## 各部門の中・長期での具体的な取組み項目及び内容（～2050年度）

### 産業部門

No.	具体的な取組み項目	具体的な取組み内容
1	未利用地を活用した PPA 事業の普及推進 (産業、業務)	<p>○利用されていない土地に太陽光パネルを設置して PPA 事業※の試行を行い、市域での拡大を図る。発電電力を電力需要地まで供給するために、大手電力会社等と調整を行う</p> <p>※PPA (Power Purchase Agreement) とは PPA 事業者が企業や個人の敷地・建物のスペースに、無償で太陽光発電設備を設置、維持管理して、電気を供給する仕組み</p>
2	農林水産分野への再生可能エネルギーの活用	<p>○水素利用等の新たな燃料による農作業機械技術の活用を進める</p> <p>○木質バイオマス発電で発生した熱の利用を推進する</p> <p>○ソーラーシェアリング (農地に支柱等を立てて、その上部に設置した太陽光パネルを使って日射量を調節し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取組) を転用することで災害時等での停電の際の防災力を強化する</p> <p>○波力発電、洋上風量発電等の海洋エネルギーの活用などの検討</p>
3	再生可能エネルギー導入促進に向けた情報発信 (全部門)	<p>○モデル事業的位置づけでモニターを募り、導入効果を市民や事業者に広く PR する</p> <p>○事業地が再生可能エネルギー導入促進区域内 (再生可能エネルギー設備の設置に適している場所として選定した土地) の場合、建築基準規制に特例許可の措置があるが、適切に対処する (景観との調和や関係者との合意形成など)</p>
4	次世代再生可能エネルギー等の導入や吸収源対策の促進に向けた技術開発の加速 (全部門)	<p>○次世代の新たな再生可能エネルギー技術の加速化の支援をする</p> <p>○森林吸収源の保全と持続可能な活用を目的とした研究で連携する</p> <p>○木質バイオマス発電を市内へ広げることに向け材料の確保などを進める</p> <p>○廃棄物処理施設の整備があれば、再生可能エネルギーの導入を行う</p>
5	区域内の脱炭素推進を目的とした補助事業の制度設計等 (全部門)	<p>○茅ヶ崎市による新たな補助事業の開始された場合、活用を検討する</p>
6	他地域・他主体との連携による施策効果の最大化 (産業、業務、運輸部門)	<p>○地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、それが困難なものについては物質が循環する環を広域化させていき、重層的な地域循環を構築していく地域の実現を目指す</p> <p>○地元で立地する地域新電力会社の設立があった場合、連携を進める</p>
7	普及啓発の推進 (産業、家庭部門)	<p>○太陽光発電設備や蓄電池、LED、再生可能エネルギー電力、RE100※、電車などが市内へ普及する制度や支援策を利用する</p> <p>※RE100 (Renewable Energy 100%) : 自社で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーにしようとする取組み</p>

8	炭素の固定化や吸収源対策の促進に向けた技術開発の加速 (全部門)	<p>○CCS/CCSU<sup>※</sup>などの新たな技術の開発に向けた支援を活用する</p> <p>○ブルーカーボン<sup>※</sup>の拡大と漁場環境の改善・保全を目的とした藻場や海中植物の保全に係る研究で連携する</p> <p>※CCS：二酸化炭素回収・貯留技術、発電所や化学工場などから排出されたCO<sub>2</sub>を、ほかの気体から分離して集め、地中深くに貯留・圧入するというもの</p> <p>CCUS：分離・貯留したCO<sub>2</sub>を利用しようというもの</p> <p>ブルーカーボン：地球上で排出された二酸化炭素のうち、海藻や海洋生物によって吸収され、貯められた炭素のこと</p>
9	エネルギー・環境ツーリズム等の視点による観光の推進 (産業、運輸部門)	<p>○シェアサイクルや観光タクシーのEV化など実施による観光移動や住民移動の推進</p> <p>○再生可能エネルギーの発電所などの見学コースを設定する</p>

## 業務部門

No.	具体的な取組み項目	具体的な取組み内容
1	未利用地を活用したPPA事業の普及推進 (産業、業務)	<p>○利用されていない土地に太陽光パネルを設置してPPA事業<sup>※</sup>の試行を行い、市域での拡大を図る。発電電力を電力需要地まで供給するために、大手電力会社等と調整を行う</p> <p>※PPA (Power Purchase Agreement) とは PPA事業者が企業や個人の敷地・建物のスペースに、無償で太陽光発電設備を設置、維持管理して、電気を供給する仕組み</p>
2	建物ZEB化の推進	<p>○公共施設の規模・用途等に合わせ新築等のタイミングZEB<sup>※</sup>化・RE100<sup>※</sup>化を推し進め、実績等の周知を行い、事業者はその内容を自らの取組に活用する</p> <p>○地域マイクログリッド<sup>※</sup>を進め、二酸化炭素排出量の削減とレジリエンス性の向上を推進する</p> <p>※ZEB (Net Zero Energy Building)：快適な室内空間を保ちながら、電気や熱などのエネルギー使用量を多く減らすために、高い断熱性能の壁や窓、電力消費の少ないLED照明などの省エネ機器を駆使し(省エネ)、それでも減らせない分を太陽光発電などの再生可能エネルギーを利用して賄おう(創エネ)という考えで設計・建設された建物のこと</p> <p>RE100 (Renewable Energy 100%)：自社で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーにしようとする取組み</p> <p>地域マイクログリッド：限られたコミュニティの中で、太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーで電気をつくり、蓄電池などで電力量をコントロールし、当該コミュニティ内の電力供給を賄うことのできる</p>

3	再生可能エネルギー導入促進に向けた情報発信 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○モデル事業的位置づけでモニターを募り、導入効果を市民や事業者 に広くPRする</li> <li>○事業地が再生可能エネルギー導入促進区域内（再生可能エネルギー 設備の設置に適している場所として選定した土地）の場合、建築基準 規制に特例許可の措置があるが、適切に対処する（景観との調和や関 係者との合意形成など）</li> </ul>
4	次世代再生可能エネルギー等の導入や吸収源 対策の促進に向けた技術開発の加速 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次世代の新たな再生可能エネルギー技術の加速化の支援をする</li> <li>○森林吸収源の保全と持続可能な活用を目的とした研究で連携する</li> <li>○木質バイオマス発電を市内へ広げることに向け材料の確保などを進 める</li> <li>○廃棄物処理施設の整備があれば、再生可能エネルギーの導入を行う</li> </ul>
5	区域内の脱炭素推進を 目的とした補助事業の 制度設計等 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茅ヶ崎市による新たな補助事業の開始された場合、活用を検討する</li> </ul>
6	他地域・他主体との連携 による施策効果の最大 化 (産業、業務、運輸部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、それが困難なも のについては物質が循環する環を広域化させていき、重層的な地域 循環を構築していく地域の実現を目指す</li> <li>○地元に立地する地域新電力会社の設立があった場合、連携を進め る</li> </ul>
7	炭素の固定化や吸収源 対策の促進に向けた技術 開発の加速 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○CCS/CCSU*などの新たな技術の開発に向けた支援を活用する</li> <li>○ブルーカーボン*の拡大と漁場環境の改善・保全を目的とした藻場や 海中植物の保全に係る研究で連携する</li> </ul> <p>※CCS：二酸化炭素回収・貯留技術、発電所や化学工場などから排出さ れたCO<sub>2</sub>を、ほかの気体から分離して集め、地中深くに貯留・圧入す るといふもの</p> <p>CCUS：分離・貯留したCO<sub>2</sub>を利用しようといふもの</p> <p>ブルーカーボン：地球上で排出された二酸化炭素のうち、海藻や海 洋生物によって吸収され、貯められた炭素のこと</p>

## 家庭部門

No.	具体的な取組み項目	具体的な取組み内容
1	再生可能エネルギー導入促進に向けた情報発信 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○モデル事業などのモニター募集へ協力する</li> <li>○事業地が再生可能エネルギー導入促進区域内（再生可能エネルギー 設備の設置に適している場所として選定した土地）の設定に参画し、 市民の意見を反映させる</li> </ul>

2	次世代再生可能エネルギー等の導入や吸収源対策の促進に向けた技術開発の加速 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次世代の新たな再生可能エネルギー技術の加速化に向け積極的に住宅等での活用を進める</li> <li>○森林吸収源の保全と持続可能な活用に関する活動に参加する</li> <li>○木質バイオマス発電を市内へ広げることに向け理解を深め、実施の際には協力する</li> </ul>
3	区域内の脱炭素推進を目的とした補助事業の制度設計等 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茅ヶ崎市による新たな補助事業の開始された場合、活用を検討する</li> </ul>
4	普及啓発の推進 (産業、家庭部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○太陽光発電設備や蓄電池、LED、再生可能エネルギー電力、RE100※、電車などが市内へ普及する制度や支援策を積極的に活用する</li> <li>○デコ活※の実施により事業者や市民が脱炭素化達成のための行動を行う</li> </ul> <p>※RE100 (Renewable Energy 100%) : 自社で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーにしようとする取組み</p> <p>※詳しくは「デコ活アクション一覧」を検索 ⇒脱炭素を意識した様々な活動が記載 (例) LED化、節水、クールビズ・ウォームビズ、地産地消・・・等</p>
5	炭素の固定化や吸収源対策の促進に向けた技術開発の加速 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○CCS/CCSU※などの新たな技術の開発に向けた支援の理解を深める</li> <li>○ブルーカーボン※の拡大と漁場環境の改善・保全を目的とした藻場や海中植物の保全に係る研究の理解を深める</li> </ul> <p>※CCS : 二酸化炭素回収・貯留技術、発電所や化学工場などから排出されたCO<sub>2</sub>を、ほかの気体から分離して集め、地中深くに貯留・圧入するというもの</p> <p>CCUS : 分離・貯留したCO<sub>2</sub>を利用しようというもの</p> <p>ブルーカーボン : 地球上で排出された二酸化炭素のうち、海藻や海洋生物によって吸収され、貯められた炭素のこと</p>

## 運輸部門

No.	具体的な取組み項目	具体的な取組み内容
1	次世代型自動車の普及促進とその活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○EV等の再生可能エネルギーの比率の高い充電インフラを実装する</li> <li>○コミュニティバスのEV化による市内主要施設の電力融通を進める</li> <li>○渋滞解消などが期待される自動運転の導入を進める</li> </ul>
2	再生可能エネルギー導入促進に向けた情報発信 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○モデル事業的位置づけでモニターを募り、導入効果を市民や事業者によくPRする</li> <li>○事業地が再生可能エネルギー導入促進区域内(再生可能エネルギー設備の設置に適している場所として選定した土地)の設定に参画する</li> </ul>

3	次世代再生可能エネルギー等の導入や吸収源対策の促進に向けた技術開発の加速 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次世代の新たな再生可能エネルギー技術の加速化の支援をする</li> <li>○森林吸収源の保全と持続可能な活用を目的とした研究で連携する</li> <li>○木質バイオマス発電を市内へ広げることに向け材料の確保などを進める</li> <li>○廃棄物処理施設の整備があれば、再生可能エネルギーの導入を推進する</li> </ul>
4	区域内の脱炭素推進を目的とした補助事業の制度設計等 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茅ヶ崎市による新たな補助事業の開始された場合、活用を検討する</li> </ul>
5	他地域・他主体との連携による施策効果の最大化 (産業、業務、運輸部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、それが困難なものについては物質が循環する環を広域化させていき、重層的な地域循環を構築していく地域の実現を目指す</li> <li>○地元で立地する地域新電力会社の設立があった場合、連携を進める</li> <li>○省エネルギー化などが期待できる MaaS*を推進する</li> </ul> <p>※MaaS (Mobility as a Service) : 移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス</p>
6	炭素の固定化や吸収源対策の促進に向けた技術開発の加速 (全部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○CCS/CCSU*などの新たな技術の開発に向けた支援を活用する</li> <li>○ブルーカーボン*の拡大と漁場環境の改善・保全を目的とした藻場や海中植物の保全に係る研究で連携する</li> </ul> <p>※CCS : 二酸化炭素回収・貯留技術、発電所や化学工場などから排出された CO2 を、ほかの気体から分離して集め、地中深くに貯留・圧入するというもの</p> <p>CCUS : 分離・貯留した CO2 を利用しようというもの</p> <p>ブルーカーボン : 地球上で排出された二酸化炭素のうち、海藻や海洋生物によって吸収され、貯められた炭素のこと</p>
7	エネルギー・環境ツーリズム等の視点による観光の推進 (産業、運輸部門)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シェアサイクルや観光タクシーのEV化など実施による観光移動や住民移動の推進</li> <li>○再生可能エネルギーの発電所などの見学コースを設定する</li> </ul>